

南伊豆特養などの連携継続を確認

30日、杉並区役所では、田中良杉並区長と岡部克仁南伊豆町長との会談が行われました。会談では、全国初となる自治体間連携による特別養護老人ホーム「(仮称) エクレシア南伊豆」の平成30年1月の開設・運営など、交流自治体としての連携事業を引き続き行っていくことを確認しました。

南伊豆町と杉並区の関係は、40年以上前に健康学園や区民の保養施設が開設されたことに始まり、それ以降現在まで区立小学校の移動教室が毎年行われてきました。こうした長年の交流関係を礎に、東日本大震災をきっかけに、平成24年9月には「災害時相互援助協定」を締結しました。また、両自治体共通の行政課題である特養入所ニーズへの対応として、(仮称) エクレシア南伊豆の建設が計画され、平成30年1月の開設が予定されています。



このエクレシア南伊豆の計画は、平成24年3月に南伊豆町の区立南伊豆健康学園が廃止され、その跡地の活用の検討の中から生まれました。この計画は、それまでの介護保険制度では想定されていない老人福祉圏域を超えた特養ホームの整備であるため、杉並区、南伊豆町及び静岡県が連携して国へ老人福祉圏域を越えた施設への入所の仕組みづくりに係る技術的支援や後期高齢者医療保険制度の法令改正などを求めて実現に至りました。そして、いよいよ7月からは入所者の募集が始まります。エクレシア南伊豆は特別養護老人ホームとしては、90床の定員です。そのうち50床程度について、杉並区民が入居することを予定しています。



本日30日午前11時、5月15日に就任した岡部克仁南伊豆町長が、杉並区の田中良区長を表敬訪問し、これまで行ってきた特別養護老人ホーム「(仮称) エクレシア南伊豆」開設に向けた取り組み、交流事業や「お試し移住事業」など、両自治体間のさらなる連携事業に継続して取り組んでいくことを確認しました。

【問い合わせ先】

保健福祉部高齢者施設整備担当 TEL：3312-2111 内線1181